

責任・誠実・実行

追手門学院小学校 校長 津田 克彦



今年度、伊勢田前校長よりバトンを受け、校長に就任しました。伝統ある追手門学院小学校の校長ということで、その責任をひしひしと感じると共に、少しでも学院の発展に貢献できたら幸せに思います。

まず、はじめに「山桜会90周年おめでとうございます。」心よりお祝い申し上げます。昨年から福井日銀総裁の講演会をはじめ多種多様な取り組みをされ、その実行力には敬服しております。これからもますますのご発展をお祈りいたしております。

さて、学院は平成20年に創立120周年を迎えます。小学校も120周年に向けて第4期建設計画を進めています。1期東館、2期北館、3期本館と続いてきた校舎建設計画も、今回の西館（専科棟）建設で完成します（建設の詳細はP18をご覧ください）。平成19年春頃から西館の取り壊しを始める予定です。西館を取り壊しますと昭和時代に建設した建物がすべて新しくなります。1年生教室で使用している木の机は一部残すつもりはしておりますが、卒

業生の皆様にとって思い出の教室がなくなります。取り壊す前に「さよなら西館」の催しを行う予定です。学校報やホームページ、山桜会会報で広報しますのでぜひご来校ください。

さて、いま関西の私立小学校が乱立する中、私は「責任・誠実・実行」を教育のモットーとして、118年の伝統を守りつつ、さらに追小教育の近代化を図り、21世紀に勝つ強い力強い体質を身につけて行きたいと考えています。教育理念である「社会有為の人材の育成」を念頭に置き、教育目標である「敬愛」を「人を愛し、物を愛し、自分を愛する心」とし、「剛毅」を「自分に克つ自分作り」とし、「上智」を「何事にも挑戦することができる学習力」として21世紀にリーダーとして活躍できる人材を育てていきたいと思っております。

小学校にとりましても山桜会の会員の皆様のご協力なくして学校の発展は考えられません。どうか今後ともご支援賜りますようお願い申し上げます。

拡がる絆

幼稚園 園長 吉田 茂



輝かしい伝統ある山桜会が九十周年を迎えられること、本当におめでとうございます。

私が小学校で担当した90・94・105・109期生の学年同窓会が、今年相次いで催されました。90期生は（聞かれたら言うが、自分からはあまり言いたくない）40歳。109期生は（まだ実感がわかない）ピカピカの20歳。110記念ホールで成人式を挙行了しました。

ちょうど油がのり切り、各分野で中核として自分の歩みを進める先輩に、エネルギーあふれる二十歳代の後輩が続くという素晴らしい連続性を感じました。



そこに、社会を切り拓いてこられた大先輩方が力強く牽引される山桜会。奥行きに改めて感じ入りました。

さて、このたび貴会より幼稚園へ、「幼稚園教育振興資金」として多額のご芳志を頂戴し、先般挙行了しました幼稚園の卒園式で、来賓として川原会長にご出席賜り、贈呈式を行いました。

大学では2007年から全入時代に突入すること。少子化の洗礼を一番初めに受けた幼児教育機関は、その影響が出始めて既に15年程経ちます。

本園では2004年8月に新園舎を完成させ、加えて教育改革に着手して3年目を迎えます。これからは、どういう子を育てるかというより、どういう子が育ったかという観点がますます重視されます。

ご奉仕頂きました資金は、園児たちの日々の教育に役立つよう、大切に使わせて頂きます。また、これを機会に総合学園として、幼稚園と小・中・高の結びつきがより強くなりますようよろしくお願い致します。

終わりにりましたが、貴会の益々のご発展を誠心お祈り致します。